

2012 年度 小委員会活動成果報告

(2013 年 1 月 31 日作成)

| | | |
|------------------------------|--|---|
| 小委員会名 | 建築プログラミング小委員会 | 主 査 名：山田哲弥 就任年月：2009 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 建築社会システム委員会 | 委員長名：安藤正雄 主 査 名： |
| 設 置 期 間 | 2009 年 4 月 ～ 2013 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | 設置目的：施設の所有者・利用者・事業主など竣工後に建築を活用する立場から見た価値の高い建築を創り上げるための、経済的・社会文化的価値発現メカニズムを探求すること。さらに、建築プログラミングの知見を広く、会員・社会に敷衍し、より価値の高い建築物の創造に寄与することを目的とする。 2012 年度計画： 1) 事例調査研究の実施、2) 公開研究会の開催、3) ネットでの情報発信・共有 | |
| 委員構成 (委員名 (所属)) | 委員公募の有無：有 山田哲弥 (清水建設)、藤本秀一 (建築研究所)、柳澤要 (千葉大)、井上誠 (宮城大)、毛谷村英治 (立教大)、児玉達朗 (東京電力)、末廣健一 (山陽学園大)、津島光 (近畿大)、増村昭二 (フリー)、松下聡 (福井大)、溝上裕二 (ジョンソンコントロールズ)、柳父行二 (セカンドカード)、柳沢和彦 (武庫川女子大) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | 価値創造モデル化WG：小委員会と同時開催し、公開研究会の企画、実施、資料作成などの実務を担当するとともに、調査結果の分析・モデル化などの個別の研究テーマについても、各メンバーが自主的に活動する。 | |
| 2012 年度予算 | 60,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/keizai/prg/ |

| 項 目 | 自己評価 |
|--------------------------------|--|
| 委員会開催数 | 9 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等) | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 公開研究会の企画・準備 (継続)、プログラミングのとらえ方の整理、事例調査結果報告 (福井市至民中学校、オフィス・庁舎事例)、近畿支部発表 1 編 2. 未実施。 3. HP の更新、委員会資料ファイルの共有 (委員のみ) |
| 委員会活動の問題点・課題 | 1. 委員会予算の制約上、遠方委員は自ら旅費を工面している。→TV 会議にて対応。 2. 分野の世代交代を進める必要がある。→WG 委員を増強、若年研究者に参加機会。 3. 成果の公表方法、他分野・他学会との連携、新たな課題の創出。 |